

祇園のお化け（節分お化け）

節分お化けは京の花街で節分の日に厄払いを目的とした季節のイベントとしてとらえます。一般民衆の間では節分お化けという風習はほとんど見かけなくなっていますが、花街では旦那衆の粋な遊びの一つとして残っています。祇園界限で行われる節分お化けも「祇園のお化け」として存在感を示しています。

一般的には、夜になると主に若手の芸妓さんが個人またはグループを作って仮装してお座敷を回ります。伝統的な演目をするグループや最近ヒットした映画の主人公やその年話題になった有名人に変装したり、歌舞伎を演じるなど毎年驚くようなアイデアで楽しませてくれます。踊りの振り付けも衣装もそれぞれアイデアに富み、踊りに合わせた音楽もこの日のために、用意し、仮想の芸を披露してくれます。個人、グループとも一か所に10分程度で演技を終え次のお座敷に向かいます。



最近では各地の町おこしや、商店街の催しの一環として、「節分お化け」を行う例もみられるようです。この場合、厄除けの儀式といった信仰面より、仮装行列として楽しむイベントとしての面が強調されているようです。ハロウインのような騒ぎになれば鬼も厄もどこかへ飛んで行ってしまいそうです。節分の日だけの習俗なので「節分のお化け」というそうです。かつては「化ける」人たちが大勢いて、当日美容院は大賑わいだったようですが、今は祇園などの花街がこの習俗を伝承しています。チャンスがあれば、歌舞伎の主人公などに紛争してお座敷を回る芸舞妓さんの「お化け」に出会えるかも・・・



